

就任後一

～機

質

職員の意識改革について、「大分県一の政策集団を目指す」とされているが、どのように捉えているのか。

答 市長

これまで各種研修会や職場ミーティングなどを行い、その醸成を図ってきたが、公務員としての自覚や、行政サービスを提供する職員意識はまだまだ不十分といえます。

今後も職員との議論を重ねることにより、距離を縮め、より良い合意形成を図りたい。

質

行政、市民、議会との協働のまちづくりの評価は。

答 市長

「1メートルからの民主主義」を政治信条とし、ふれあいミーティングなどを中心に、中学生や各グループ、

各種団体、自治会などとの意見交換による対話を、積極的に推進してきました。

係る市民説明会では、参加者が少なく、その取り組みが市民参加の向上に繋がっていないと深く反省しています。

今後は、自治会単位に小さくして開催することや、事前に資料やアンケート用紙の配布など工夫を凝らし、市民参加の向上に取り組めます。



病院開設に係る市民説明会（大野町）

前期基本計画の検証は

～実施計画を毎年度見直す～

質

第1次総合計画、前期基本計画（平成18年度～平成22年度）の事業の進捗状況と検証は。

答 市長

この計画は、「行政が何をするか」を中心とした、「整備目標明示型」ではなく、「市民生活がどのようなのか」と言う「成果目標明示型」となっています。

毎年、事業施策の進捗状況や成果の達成状況を見直し、事業評価とともに各種事業に取り組んでいます。

年の総括は

動的かつ弾力的な運営を～

質

行政組織の見直しや部長制廃止の取り組みは。

答 市長

行政運営で、意思決定の迅速化や、権限と責任を明確にする組織のフラット化が求められており、組織の簡素化は避けて通れない状況です。

部長制の廃止は喫緊の課題であり、平成23年4月から予定しており、平成22年度中に事務作業を進めます。

質

地域担当職員制度の導入は怎么样了のか。

答

市長

制度の導入については、これまで職員組合との協議を重ねており、平成22年度の早い時期のスタートを目指しています。



3役と部長による会議の様子

質

行政改革の取り組みで、平成21年度に「第2次公共施設統廃合計画」が公表予定であったが。

答

市長

公共施設の統廃合は当面する重要課題の一つとして位置付けています。

「行政組織内部の集約化」、「フラット化」の議論や「事務事業の民営化」など、行政改革の大きな枠組みの中で捉えていきます。

廃止された神角寺キャンプ場（朝地町）



公共施設の見直しは、市民生活に大きく影響を及ぼすことが予想されるため、平成22年度中にじっくり内部協議を行い、組織機構の再編と一体的に捉え、平成23年3月に公表します。



無償譲渡された公共施設



緒方 徳田軽作業所



むしよぞく かい
無所属の会

あんどう とよさく
安藤 豊作